

平成30年度進捗評価シート
斑鳩町歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用(特別用途地区の指定)		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物修景事業		3
2 道路美装化事業		4
3 案内板等整備事業		5
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用		6
2 文化財の修理・整備		7
3 文化財の調査		8
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 『浜松・呉竹壮に交渉権 法隆寺門前のホテル計画』等 他5件	...	9
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 「歴史まちづくり・観光まちづくり」に向けた官民協働のまちおこし	...	10

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		11
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	庁内においては、計画策定段階の庁内組織を継承・発展させた関係課による推進体制として斑鳩町歴史まちづくり推進調整会議を設置し、文化財部門(教育委員会事務局生涯学習課)とまちづくり部門(都市建設部都市整備課)は、より密度を高めた連絡・調整を行う。また、国・県等の関係機関との協議を行うとともに、適切な支援を得るように努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①本計画の着実な推進に向けて、全庁的な連携を図るため、「斑鳩町歴史的風致維持向上計画」における各種事業の実施に向けた実施管理計画の策定に伴う政策企画調整幹事会議、及び政策企画調整員会議をそれぞれ2回実施した。 ②実施管理計画に基づき各事業の進捗管理の共有を図り、着実な事業推進を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず広く庁内の連携を取ることが必要である。		
状況を示す写真や資料等			
●第9回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (平成30年5月30日) 【協議内容】 ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて  ●第10回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (平成30年12月21日) 【協議内容】 ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて			
《政策企画調整幹事会議・調整員会議の様子》 			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
都市計画の活用(特別用途地区の指定)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上のために歴史的建造物の保存・活用や空家・空地等を活用したまちあるき拠点の整備が求められ、そのためには、現行の都市計画の用途の緩和が必要であることから、特別用途地区の適用を検討しており、都市計画の適用については、まちづくり部門(都市建設部都市整備課)が担当する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年10月1日施行の法隆寺周辺地区特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例及び斑鳩町における特別用途地区の区域内における建築行為等に係る事前協議に関する要綱を運用し、当該区域内及びその周辺の良好な住環境との調和を図りながら、歩いて楽しむことができる店舗や飲食店等の立地を促し、もって活力とにぎわいのあるまちづくりを推進している。

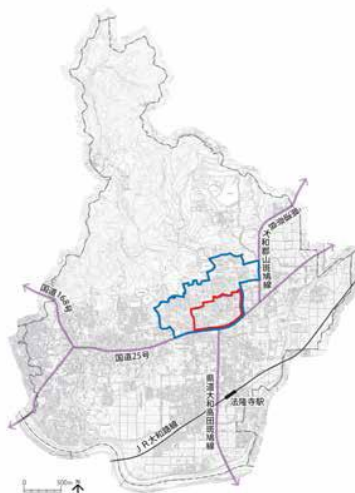
平成30年度では、2件のホテルが特別用途地区の適用を受けて、事業をすすめられたことにより、まちあるき拠点の一つとしてにぎわいの創出に期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

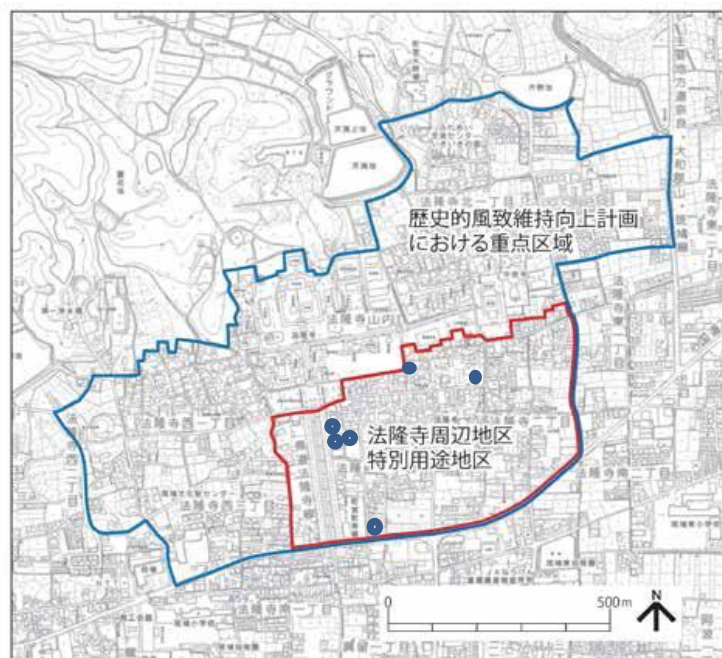
状況を示す写真や資料等

- 地区の名称…法隆寺周辺地区特別用途地区
- 地区の面積…24.9ha
- 要綱に基づく事前協議件数
 - 平成26年度 2件
 - 平成27年度 1件
 - 平成28年度 1件
 - 平成29年度 0件
 - 平成30年度 2件

位置図



拡大図



凡例

要綱に基づく事前協議物件所在位置

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
歴史的建造物修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和5年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	主な歩行者ルートとなるところを中心に、外観の修景整備を行うことで歴史的町並みを整える。合わせて、歴史的町並みの連続性を阻害している建物や塀、空地などについては、歴史的町並みに調和するよう修景を行う。修景にあたっては、策定予定のガイドラインに沿って、自然素材を用いた地域の伝統的デザインを踏襲することを基本とする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
法隆寺周辺地区における建築物や外構に対し、望見可能な前面部分の修景工事に伴う費用の一部を助成し、町並みの連続性を創出している。年間に複数件を継続して修景整備を行っていく。 平成30年度は、1件の助成を行い、歴史的町並みの連続性に寄与した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

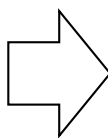
状況を示す写真や資料等

■ 実施例

実施前

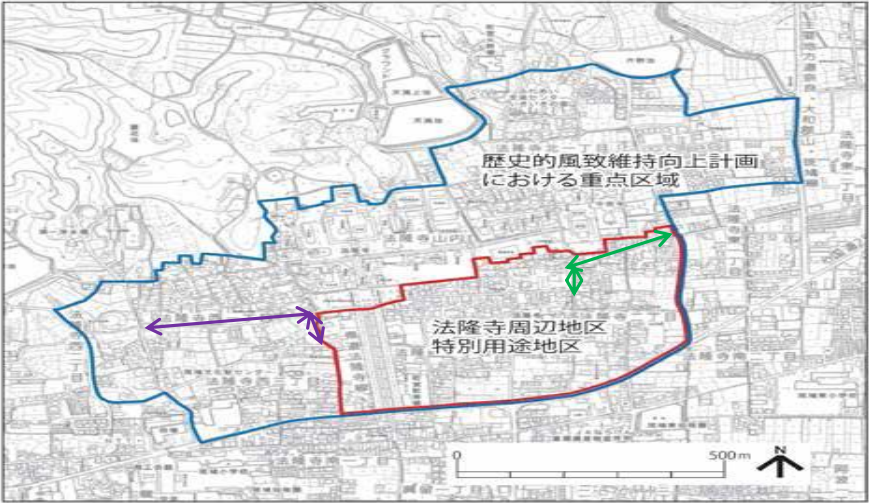


実施後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	法隆寺門前の参道については、歩行者空間が美装化されているが、歴史的町並みの残る集落の道路はアスファルト舗装の車道になっており、連続した歩行者ルートとなっていない。回遊性を高めるため、三町地区に位置する町道202号線をはじめとした、まちあるき観光拠点をめぐるルートについて、舗装の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、道路舗装の美装化を行っていく。 平成30年度は、433mの整備を行った。過年度に実施した美装化と同様に実施することによる連続した歩行者ルートの整備につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
■実施例 実施前  実施後   歴史的風致維持向上計画 における重点区域 法隆寺周辺地区 特別用途地区 道路美装化事業箇所 (過年度整備) ←→ (今年度整備) ←→			

評価軸③-2

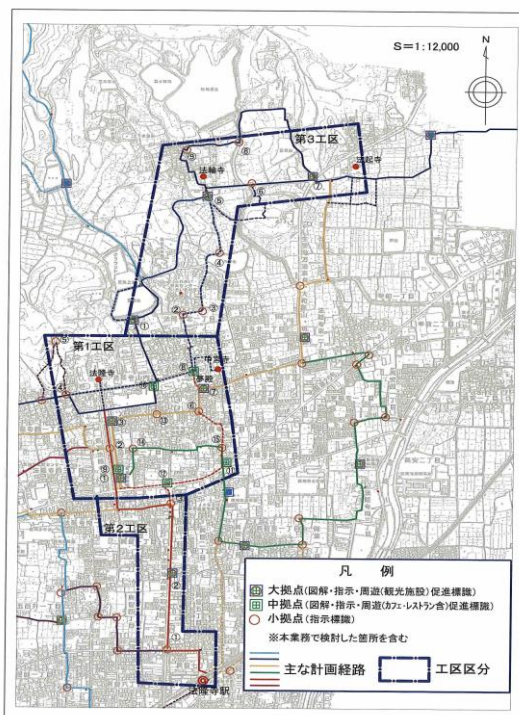
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
案内板等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	これまで様々な事業で案内板や案内サインの設置に取り組んできたが、その誘導システムを見直し、これらに加えて、まちあるき観光の誘導に必要な、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区の歴史的風致を形成する文化財や観光地として必要な施設等、まちあるき観光を図るための観光案内サインの整備を行っていく。また、観光案内サインについても、町並みに調和したデザインとする。平成30年度は、3箇所の観光案内サインの整備を行った。斑鳩町観光案内サイン配置計画を基に整備することで、観光客等にわかりやすく、効果的な案内が可能となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

■ 斑鳩町観光案内サイン整備工事(2箇所)



■ 斑鳩町観光案内サイン配置計画



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財の保存・活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◆文化財の普及・啓発などを実施し、文化財に触れ合う機会を創出することにより、歴史的風致の保存・活用につながった。 ・史跡藤ノ木古墳石室特別公開の開催 ①春季(1,567人/2日) ②秋季(※実施せず) ・斑鳩文化財センター(利用人数:9,073人/年)における展示会の開催 ①法隆寺ゆかりの都市文化交流協定締結1周年記念 夏季特別展「法隆寺食封で結ばれた文化交流展 ―法隆寺がつなぐ各地域の古代の様相―」(880人/44日) 開催期間:平成30年7月21日(土)～9月2日(日) ②史跡藤ノ木古墳開館調査30周年記念 秋季特別展「史跡藤ノ木古墳と大和の家形石棺」(2,406人/37日) 開催期間:平成30年10月27日(土)～12月2日(日) ・講演会・講座の開催 ①春季特別展開催に伴う記念講演会「瓦からみた飛鳥～奈良時代の法隆寺」及び4市の講師による講演(100人) ②秋季特別展開催に伴う記念講演会「藤ノ木古墳と家形石棺」(60人) ・講座・教室等の開催 ①「こども考古学教室」(全2回) 1. こども勾玉づくり教室、2. こども鏡づくり教室 ③「斑鳩考古学講座」(全1回) 2. 文化財めぐり、(※1. 勾玉づくり講座は台風24号の接近により中止) ・文化財資料図書の刊行 ①夏季特別展リーフレット ②秋季特別展展示図録 ③『斑鳩文化財センター年報 第8号』 ・県立法隆寺国際高校による藤ノ木古墳石室特別公開のボランティア活動 ・文化財の保存・活用に関わる住民や各種団体によるボランティア活動 ①法隆寺等における観光ガイド ②斑鳩文化財センターにおける受付・解説 ③藤ノ木古墳の除草作業などのボランティア活動 ◆文化財の防犯体制の周知し、防犯体制を整えた。 文化財の防犯体制の徹底についての通知文書を指定文化財の所有者または管理者に渡すとともに、日常管理や防犯体制について再確認いただくよう依頼した。併せて、何か異常等がある場合、教育委員会に連絡するよう依頼した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の普及・啓発に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 史跡藤ノ木古墳石室特別公開  斑鳩文化財センター展示会(夏季特別展)  夏季特別展開催に伴う記念講演会		
 こども考古学教室  史跡藤ノ木古墳ボランティア活動		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財の修理・整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の修理・整備・など ・史跡中宮寺跡の整備事業報告書の作成 ・法隆寺における国宝中門等の建造物の保存修理工事の実施 ・法隆寺等における文化財防火デー合同防火訓練の実施など 文化財の補修・修理を行うことで、後世に受け継いでいくことができ、歴史的風致として保存・活用ができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の修理・整備に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 史跡中宮寺跡整備工事  法隆寺保存修理工事(国宝中門)  文化財防火デー合同防火訓練		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財の調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の調査など ・町内遺跡(法隆寺周辺遺跡等)における発掘調査の実施 ・国庫補助事業の調査として、中宮寺跡周辺遺跡における内容確認調査の実施 ・国庫補助事業の調査として、大方家文書調査の実施 ・町指定文化財候補の調査として、春日古墳の墳丘内含水量測定調査や、若草伽藍跡西方の調査出土壁画片の調査の実施 ・梵天山古墳の測量調査や甲塚古墳の発掘調査における奈良大学との共同調査の実施 文化財の調査を行うことで、歴史的・文化的資源の調査・保存・活用につながった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の調査に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
平成30年度調査等写真		
		
発掘調査(法隆寺周辺遺跡)		中宮寺跡周辺遺跡内における発掘調査
		
春日古墳気象調査		奈良大学との共同調査(甲塚古墳)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成30年度
年月日		掲載紙等	
『浜松・呉竹社に交渉権 法隆寺門前のホテル計画』		平成30年12月13日	朝日新聞
『法隆寺参道にホテル 斑鳩町と呉竹社が基本協定締結』		平成30年12月13日	建通新聞
『法隆寺門前宿泊施設 事業者に浜松の業者』		平成30年12月13日	奈良新聞
『法隆寺そばの宿 事業者決定』		平成30年12月19日	読売新聞
『斑鳩町 優先交渉権者に呉竹社』		平成30年12月14日(金) ～平成30年12月20日(木)	奈良日日新聞
『「呉竹社」事業者に決定』		平成31年1月5日	毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業や関連事業の情報発信を行うことで、本町の「歴史まちづくり・観光まちづくり」への取り組み状況について、広く周知することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	整備の進捗状況や関連事業について、報道機関の積極的な活用をすすめていく。
状況を示す写真や資料等	

斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業関連



		評価対象年度	平成30年度
項目			
『歴史まちづくり・観光まちづくり』に向けた官民協働のまちおこし			
計画に記載している内容	歴史的風致の価値や魅力を引き出すことを意図しながら、広く情報発信を行い、歴史的風致を生かす観光振興に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
「見つける・繋がる・広がる」をテーマとし、町内の方には「斑鳩に住んでよかった」と、観光客や町外の方には「斑鳩に住んでみたい」と思ってもらえるような、地域に愛され、また斑鳩町の魅力を発信するイベントとして、「いかるがマルシェ」を平成30年11月23日(金・祝)に開催し、情報発信できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		観光関係団体や住民と連携し、観光イベントを再編し、新たな枠組みでの観光振興事業を検討する。	
状況を示す写真や資料等			
いかるがマルシェ関連   			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:斑鳩町歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時:本年度の開催はなし(以下は会長の総括コメント)	
(コメントの概要)	
昨年度に引き続き、本計画により、民間の建物修理・修景事業が順次実施されつつあり、あわせて、都市計画による特別用途地区の指定と連動した歴史的建造物を活用した、まちあるき観光の拠点となる店舗等が順次開設されて、法隆寺周辺地域における回遊性が高まってきていることは高く評価されます。また、民間の旅館建築及び斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業に基づくマルシェ・旅館建築が予定されており、宿泊施設等の立地に伴う回遊性の向上、滞在時間の延長が図られることを期待します。 さらに、宿泊施設の立地を契機に民間主導のまちあるき拠点の拡大にも期待します。 一方では、歴史的環境にふさわしい電線類地中化、道路高質化等、公共空間の整備については、道路の美装化が一部実施されましたが、電柱類景観改善事業については、まだ計画途上にあり、一体的な事業化に向け、早期の取り組みが望まれるところです。 町並み整備が順調に進んでいるなか、連続性を阻害している建物等も依然として残っているが、宿泊施設やマルシェの誘致により、民間の自主的な修景の進展、店舗の開設等地域ぐるみで進んでいくことが望まれます。	
(今後の対応方針)	
・電柱類景観改善事業を含めた公共空間の整備を早期に取り組んでいく。 ・建物等の修景にあたっては地域特性に十分配慮していく。	